

<2021年度 厚生労働省社会福祉推進事業>
一般社団法人 全国地域生活定着支援センター協議会 関東・甲信越ブロック
2021年度 専門研修 開催要項

「罪に問われた障害者・高齢者支援の再出発～支援のはじまり～」

1. 開催趣旨

平成21年度に地域生活定着支援事業が開始され、10年以上が経過しました。全国の地域生活定着支援センターでは罪に問われた障害者や高齢者を対象に「出所後に福祉の支援を受け地域で生活をする」ことができるよう支援をしています。

しかし、地域、福祉、司法、関係機関の皆様のご理解、ご協力をいただきながらも、まだまだ、出所者の実情を十分に伝えられないまま、支援をしている現状があります。

また、今年度からは刑事手続の入口段階にある被疑者、被告人等を対象に被疑者等支援業務（入口支援）が開始されました。入口支援は、各地域の特色に応じた支援を行うことになっていますが、支援の在り方や体制づくりを模索しているところです。

そこで改めて「罪に問われた障害者、高齢者の現状」「各地域の入口支援の現状」を再確認し共通認識とすることで、地域生活定着促進事業の理解促進、支援者の技術の向上を目的に関東甲信越ブロック研修を開催いたします。

2. 主 催

全国地域生活定着支援センター協議会

3. 日 時

2021年11月11日（木）13:00～16:10

11月12日（金）9:00～12:30

4. 会場

静岡県沼津市大手町1-1-4

プラサヴェルデ301、302会議室 Zoomにて開催

5. 定 員

500名

6. 参加対象者

11/11(木)地域生活定着支援センター職員、福祉関係者、保健医療関係者、司法関係者、更生保護関係者、行政関係者、その他

11/12(金)定着支援センター職員、司法関係者、更生保護関係者

7. 参加費

無料

8. 参加申し込み

Google フォームに必要事項を記入の上、申し込み。

後日、申し込みメールアドレスに、ID、パスコードを送信。

9. プログラム

11月11日（木）

時間	内容	
12:30～	受付開始	(入室 12:30～)
13:00～13:10	開会挨拶	全国地域生活定着支援センター協議会 会長 高原伸幸氏
13:10～14:40	基調講演	ジャーナリスト 江川紹子氏 「罪を犯した障害者、高齢者の現状」
14:40～14:50	休憩	
14:50～15:10	行政報告	厚生労働省社会・援護局 総務課 酒谷徳二氏
15:10～15:30	行政報告	法務省保護局観察課 青木 出氏
15:30～15:35	休憩	
15:35～15:50	実践報告	静岡県地域生活定着支援センター 須田早苗
15:50～16:05	事例報告	長野県地域生活定着支援センター 石川貴浩氏
16:05～16:10	閉会挨拶	山梨県地域生活定着支援センター 穴山裕志氏

11月12日（金）

9:00～9:25	受付開始	9:15～入室開始
9:25～9:30	事務連絡	
9:30～12:25	パネルディスカッション	コーディネーター 厚生労働省社会・援護局 矯正施設退所者地域支援対策官 伊豆丸 剛史氏 パネリスト (1) 千葉県地域生活定着支援センター 岸 恵子氏 千葉の入口支援について (2) 埼玉県自立支援センター 木内 英雄氏 埼玉県の重点実施について (3) 静岡地方検察庁 社会福祉アドバイザー 菅野 紀枝氏 検察庁福祉アドバイザーの役割と入口支援 (4) 明日の空 理事長 飯田 智子氏 入口支援に関わった経緯 被疑者支援への想い
12:25～12:30	閉会挨拶	群馬県地域生活定着支援センター 関東・甲信越ブロック長 高津 努氏